

高知県子ども読書活動推進協議会 指標の達成状況と評価

資料4

第三次高知県子ども読書活動推進計画の指標及び目標値											
《 》数値：全国値											
取組方針	指標	担当	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 目標値	
1	① 読み聞かせ運動に参加している保育所・幼稚園等の割合(%)	幼保	—	—	—	72.8	78.1	92.9	—	75.0	
	② 保護者・図書館・ボランティア等の連携の実施率(%)	幼保	81.9	87.7	88.3	86.8	86.8	85.2	—	95.0	
	③ 読書が好き・どちらかといえば好きな割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	78.6 《73.0》	78.8 《72.8》	78.4 《74.6》	78.3 《74.3》	—	78.4 《75.0》	—	—	80.0
		中	72.2 《69.4》	71.2 《67.9》	73.8 《69.9》	72.5 《69.9》	—	70.6 《68.0》	—	—	80.0
	④ 家や図書館で普段(月～金)の読書時間が10分以上の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】 ※H26年度調査より、「学校の授業時間以外で…」に変更	小	67.5 《64.7》	68.1 《64.2》	65.6 《63.5》	63.7 《63.3》	67.6 《66.2》	67.0 《65.7》	—	—	75.0
		中	58.2 《53.0》	57.9 《52.2》	54.0 《49.7》	54.6 《51.4》	59.9 《53.5》	54.0 《50.4》	—	—	70.0
	⑤ 家や図書館で普段(月～金)に全く読書をしない割合(%) 【全国学力・学習状況調査】 【高知県オリジナルアンケート・高等学校課】	小	16.1 《19.3》	16.3 《19.9》	17.4 《20.6》	18.5 《20.5》	16.1 《18.7》	16.1 《18.7》	—	—	8.0
		中	28.2 《34.3》	29.2 《35.0》	31.9 《37.2》	31.7 《35.6》	25.5 《32.9》	31.0 《34.8》	—	—	15.0
		高	—	—	—	39.7	42.2	43.7	45.3	—	25.0
	⑥ 昼休、放課後、休日に学校図書館や地域図書館を利用する割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	68.0 《70.7》	68.5 《69.1》	66.3 《68.7》	65.7 《67.2》	—	69.8 《69.9》	—	—	70.0
中		43.7 《41.7》	46.3 《42.7》	44.4 《41.7》	44.3 《41.9》	—	48.1 《44.5》	—	—	50.0	
⑦ 特別支援学校で読書週間を設定している割合(%) 【県教委調査】	特支	62.5	62.5	62.5	75.0	75.0	62.5	—	—	75.0	
⑧ 学期に1回は、図書・視聴覚便りを発行している割合(%) 【県教委調査】	特支	50.0	62.5	75.0	88.0	75.0	100	—	—	87.5	
2	⑨ 公共図書館との連携・交流をしている割合(%) 【学校図書館の現状に関する調査】	小	82.5 《79.9》	82.3 《82.2》	—	—	—	—	調査中	90.0	
		中	56.1 《52.4》	56.7 《57.5》	—	—	—	—	調査中	60.0	
		高	52.9 《47.7》	55.9 《51.1》	—	—	—	—	調査中	60.0	
		特支	62.5 《29.6》	— 《36.6》	50.0 《—》	63.0 《—》	88.0 《—》	100 《—》	—	—	75.0
	⑩ 読書ボランティア活用率(%) 【学校図書館の現状に関する調査】	小	70.1 《81.1》	73.4 《81.4》	—	—	—	—	調査中	80.0	
中		27.1 《28.1》	31.7 《30.0》	—	—	—	—	調査中	35.0		
3	⑪ 学校図書館を活用した授業の計画的実施率(%) (月に数回程度以上実施) 【全国学力・学習状況調査】 ※H28年度より、「学校図書館の資料を活用した…」に変更	小	50.2 《47.6》	49.2 《43.1》	39.4 《42.6》	39.4 《42.6》	—	—	—	55.0	
		中	11.9 《10.4》	14.7 《11.7》	23.3 《11.4》	23.3 《11.4》	—	—	—	—	20.0
	⑫ 普段の授業で、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよくやっている児童・生徒の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	71.8 《77.3》	84.4 《90.8》	89.0 《91.9》	88 《92.6》	—	—	—	—	95.0
		中	55.6 《46.5》	69.7 《78.0》	76.1 《82.2》	85.1 《83.5》	—	—	—	—	85.0
	⑬ 学校図書館図書標準の達成率(%) 【学校図書館の現状に関する調査】	小	—	59.4 《66.4》	—	65.1 《—》	—	—	—	調査中	65.0
		中	—	38.5 《55.3》	—	42.3 《—》	—	—	—	調査中	45.0
⑭ 学校司書(学校図書館担当職員)の配置率(%) 【学校図書館の現状に関する調査】	小	60.2 ◆11月時点 《54.5》	59.2 ◆11月時点 《—》	55.2 ◆11月時点 《59.3》	—	—	—	—	調査中	全国 平均	
	中	56.7 ◆11月時点 《52.8》	55.3 ◆11月時点 《—》	52.5 ◆11月時点 《57.3》	—	—	—	—	調査中		
	高	100.0 《66.5》	100.0 《—》	100.0 《66.9》	100.0 《—》	100.0 《—》	100.0 《—》	—	—		100% 維持
4	⑮ 児童レファレンス件数(件)	県図	1,925	2,059	2,378	1,849	5,340	7,301	—	5,100	
	⑯ 協力貸出冊数(冊)【含児童書】	県図	26,556	26,345	31,132	42,450	22,245	32,301	—	32,000	
5	⑰ 「子ども司書」認定者数(人)	生涯	—	—	67 (5市町)	54 (5市町)	55 (6市町)	45 (7市町)	未確定 (1町)	毎年度 100名	
	⑱ 読書ボランティアリーダーの養成	生涯	—	—	—	—	—	—	—	60名 以上	

(評価)

①～② (幼保支援課) ・保育者・保護者に対する園内研修等を通して、読み聞かせの良さや方法、発達に合わせた選書の仕方などを具体的に示すとともに、選書の参考として「絵本おはなし宝箱」の活用を助言することができた。 ・保護者、図書館、ボランティア等の連携実施率では、特に小中高生との連携が活発になっており、幼児とのふれあいや幼児の発達に応じた選書、読み聞かせのアドバイスなど、活動内容の工夫が見られはじめた。
③～⑥ (小中学校課) ・指標とした項目全てにおいて、令和3年度目標値を達成できていない。特に、中学生の読書時間(普段の日/10分以上)の割合が低く、目標値を16ポイント下回っている状況である。 (高等学校課) ・不読率に関するアンケートの設問は、「あなたは、学校や家などで読書(マンガを除く)を週にどの程度しますか」である。 ・アンケート対象は、県立高等学校の全ての生徒である。ただし、平成29年度については学校によって対象学年が異なる。 ・高校1年(4月時点)の不読率は、平成29年度が31.0%、平成30年度が34.1%、令和元年度が36.0%、令和2年度が43.3%であり、年々増加している(令和2年度は6月時点)。 ・全体としては、高校1年次の特に前半に不読率が高くなり、その後は、高校2年から高校3年にかけて、やや改善される傾向にある。しかし、令和3年度の目標値である25.0%と現状の数値には依然として開きがあり、不読率の高さについて課題が残っている。
⑦～⑧ (特別支援教育課) ・多くの学校で読書週間を設定し、障害の状態に応じて読書活動の充実、図書室の利用促進させる取組を行っている。読書週間を設定していない学校についても、年間計画の中に読書活動を位置付けるようにしている。 ・図書・視聴覚だよりの発行は、R1年度100%になり、各学校で継続して取り組んでいる。特に、新刊の紹介や、おすすめ図書の紹介等を行っている。
⑨～⑩ (小中学校課) ・指標とした項目全てにおいて、令和3年度目標値を達成できていない。特に、小学校における公共図書館との連携・交流をしている割合(R3目標値比-7.7ポイント)、読書ボランティア活用率(同-6.6ポイント)という状況である。 (特別支援教育課) ・オーテピア高知図書館や、移動図書館、公立図書館の定期的な利用、校外学習等で利用が増加している。また、オーテピア高知図書館ではバリアフリー図書の長期貸し出し等も利用している。
⑪～⑭ (小中学校課) ・全国学力・学習状況調査において、指標とした項目については、中学校は令和3年度目標値を超えているが、小学校は達していない。特に、学校図書館を活用した授業の計画的実施率の割合が低い(R3目標値比-15.6ポイント)。 ・学校図書館の現状に関する調査において、「学校図書館図書標準の達成率」については、小学校は令和3年度目標値に達しているが、中学校は目標値を-2.7ポイント下回っている状況である。また、「学校司書の配置率」については、小学校及び中学校とも全国値を4～5ポイント下回っている状況である。 (高等学校課) 学校司書(学校図書館担当職員)の配置率については、今後も100%を維持していく予定である。
⑮～⑯ (県立図書館) ⑮こどもカウンターで受付けたレファレンス。所蔵紹介6,502件含む。必ずしもこどもの本に関することとは限られない。なお、午後5時以降は交替要員が確保できていないため、こどもカウンターは閉鎖し、2階総合カウンター等でレファレンスは受付けている。 ⑯県外653冊除く。
⑰～⑱ (生涯学習課) ⑰講座を実施する市町村図書館は増加しているが、認定者数は減少している。講座のカリキュラムとして夏から冬という長期にかけて司書の仕事を学ぶので、主に図書館や読書に興味・関心がある児童・生徒が参加する傾向にある。そして、地域にそのような意欲の高い児童・生徒の数も限られているため、目標値を達成する程認定者数は増えなかったと考えられる。 ⑱読書ボランティアの核となる人材の育成に重きを置いた講座の開催に至っていない。気軽に参加できる「ボランティア」の性質上、リーダーとしてその組織を先導しようとする人が現れにくく、研修内容の設定や参加者数の見込みを計画立てることができなかった。